

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和3年11月24日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	○		各部屋に椅子・机を配置しており、たくさんの目で全体を見渡せるように職員を配置しております。	今後も椅子や机の配置を工夫してスペースの確保をおこなうとともに、支援時にはたくさんの目で全体を見渡せるように担当制をとり、児童が落ち着いた環境で過ごせるよう配慮してまいります。	
	2	○		法令に定める基準を満たし、保育士や児童指導員、OT・STなどの専門職を配置しております。	今後も適切な人員を確保、配置してまいります。	
	3	○		建物から事業所へ通じる階段がありまして、昇降時には職員が付き添い、見守っております。室内は、段差もなくバリアフリー化されております。	階段はらせん階段のため、手すりに緩衝材を巻いています。今後も昇降時には必ず職員が児童の一段下を一緒に付き添って歩くよう配慮してまいります。	
	4	○		毎日のミーティングや、月に2回のリフレクション会議等では、役職や年齢に関係なく課題があれば自由に話し合える場を設けています。多くの視点から現状の把握に務め、今後の方針を全員で検討できるように心がけております。	今後も職員の話し合いの機会を設け、PDCAサイクルに沿って課題を話し合い、改善点を見出して業務改善につなげてまいります。	
業務改善	5	○		毎年アンケートによる評価を行い、ご意見に対して、職員で話し合い、改善に繋げております。	保護者様とは話し合い、改善出来ることから改善できるよう努めます。保護者様のご意向を踏まえ今後の業務改善につなげてまいります。	
	6	○		自己評価の結果はCOMPASSの公式Webサイトで公開しております。	今後も自己評価を行い、結果を公式Webサイトで公開してまいります。	
	7	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題には検討してまいります。	
	8	○		コロナ禍ではありますが外部研修へは行政等からの案内があるものには感染症対策のうえ積極的に参加しています。事業所内では本社で企画制作された研修動画を各職員で視聴して資質の向上に努めております。	今後も各研修には積極的に参加し、研修動画や、COMPASSの公式YouTube動画を視聴し常に全職員の資質向上を図ってまいります。	
適切な支援の提供	9	○		アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しております。	今後も保護者様や関係機関と連携を取りあい、モニタリングをおこない、客観的な視点で支援計画を作成していきます。	
	10	○		アセスメントシートを全事業所共通のものを使用しております。	児童の成長に伴った変化を把握するため、アセスメントシートを用い、半年に一度は状況を客観的に把握できるように努めてまいります。	
	11	○		月2回のリフレクション会議の場で話し合いを行っております。	今後も月に2回のリフレクションを欠かさず行い、話し合いプログラムを検討してまいります。	
	12	○		リフレクション会議や日々の職員間の話し合いで、成長や環境に合わせて、一つ一つ確認しながらプログラムの見直しをおこなっています。	職員の話し合いで新しいプログラムを立案し、一つひとつ確認しながらプログラムが固定化しないよう工夫と配慮を尽くしていきます。	
	13	○		長期休暇では課題を話し合い、一人ひとりに合った課題を設定し、支援しております。	平日では出来ない課題など長期休暇等に設定するとともに、個々に合わせた課題を設定してまいります。	
	14	○		個別活動と集団活動の両方を組み合わせ、計画を作成しております。	児童の様子を見ながら状況に合わせて専門職の職員と児発管が主体となつて話し合い適宜に組み合わせをおこない計画を作成してまいります。	
	15	○		朝礼や昼礼の時に活動内容の確認を行っております。	話し合いの中で、課題の進み具合や問題点などを出し合い、情報共有を図り、より良い支援をすすめてまいります。	
	16	○		送迎終了時や翌日の朝等に情報共有をおこなっております。	今後も毎日職員間での情報共有をおこなってまいります。	
	17	○		日々、担当した職員が責任を持って記入し、次回担当した職員がチェックし、週末、月末チェックで確認しております。	今後も支援内容の記録は細かく記載し職員間で共有していきます。また、備考欄にもその日の体調や、心理面なども記入し、児童の変化についても情報共有できるように努めてまいります。	
	18	○		定期的（6ヶ月以内）に必ずモニタリングを実施し、現状の把握をおこない、支援計画を見直しております。	今後も同様にモニタリングと支援計画の見直しをおこない、見直しの際には職員が気づきなども報告しやすい環境を作ります。	
	19	○		ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っております。特に児童に対しての支援内容については、直接指導にあたる職員の意見を吸い上げ、統一した支援ができるよう努めております。	今後もガイドラインの内容について情報共有し、統一した支援の提供ができるように努めてまいります。	
	関係機関や保護者との連携	20	○		担当者会議には、児童の状況を一番把握している児発管が参加しております。	利用児童の状況を事前に職員間で話し合い、担当者会議に参加してまいります。
		21	○		関係機関の連携会議の開催や送迎時に連携を図り、下校時間の変更等、担任の先生と連絡調整を行い、トラブルの予防に努めております。	今後も引き続き連絡調整をおこない密に連携が取れるようにしてまいります。
		22	○		現在医療的ケアが必要な対象となる児童の受け入れはありません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
		23	○		大半の児童は就学前から系列事業所を利用しており、情報共有・相互理解は出来ています。他の園や事業所とも適宜情報交換をおこない、児童の状況に適した支援をおこなえるよう努めております。	今後も関係機関との情報共有が途切れないように、情報共有などをおこなってまいります。
		24	○		現在までに卒業した児童は居ませんが、進路については保護者様と相談をおこない、移行先への情報提供に関しても準備は出来ております。	今後も保護者様だけでなく関係機関との連携がとれる体制づくりをおこなってまいります。
		25	○		スタッフ研修として、専門機関に講演を依頼し、学ぶ機会を設けております。	常に連携を意識し、助言等を受ける機会を漏らさないように努めてまいります。
		26	○		現在までに事業所外での交流機会はあります。	コロナ収束後は保護者様のご意向を伺いながら交流の機会を検討してまいります。
27		○		協議会主催の研修や会議等は積極的に参加しております。	コロナの関係でオンラインでの会議が多いですが、積極的に参加するとともに、内容については協議会への参加をしていない職員にも情報が共有できるよう施設内研修もおこなってまいります。	
28		○		送迎の時や連絡帳を用いて保護者様よりご相談をいただき、丁寧に聞き取り対応しております。	今後も保護者様と話し合う機会を作り、COMPASSでの様子を詳しくお伝えしたり、ご自宅や学校での様子をお聞きしたり、連絡帳を通したやりとりを通して共通理解を図ります。	
保護者への説明責任等	29	○		様々なご相談を頂く中で児童への対応については丁寧に聞き取り助言やご提案をさせていただいております。	今後も継続して保護者様との連携を図ってまいります。	
	30	○		契約時の読み合わせ時に丁寧な説明をおこなってまいります。	今後も契約時をはじめ丁寧な説明をおこなってまいります。	
	31	○		ご家庭での悩みなどのご相談では、適切なアドバイスに加え、解決できるよう支援をおこなっております。	今後も継続して今後も、保護者様と話し合うように努め、助言等を行うよう努めてまいります。	
	32	○		現時点では父母の会や保護者会などは開催出来ておりません。	コロナ収束後は保護者様のご意向を伺い、開催の検討をしようと思っております。	
	33	○		苦情は迅速に対応し、職員へ周知し、改善策を協議しております。	今後も苦情に対しては全職員で共有し、迅速な対応をおこなうように努めてまいります。	
	34	○		季節ごとCOMPASSサイトでは最新情報の他、毎日事業所の活動内容がブログで紹介されております。	SNS等の情報発信等も継続するとともに、今後は「信息等」を発信し、より充実した内容になるよう努力してまいります。	
	35	○		写真掲載など個人情報に関する場合には、毎回保護者様への確認書により同意を得ています。個人情報の取り扱いは細心の注意を払い、施錠できる書庫で保管しております。	今後も個人情報の管理には細心の注意を払い、安心してご利用できるように留意してまいります。	
	36	○		特性を踏まえて口頭、メール、筆談等あらゆる手段を活用して情報伝達に努めております。	今後もご家族の状況に合わせて対応してまいります。	
	37	○		現時点では、地域の方をご招待するなどの交流の機会はあります。	保護者様のご意向を確認したうえでコロナ収束後は、地域での活動等に今後参加する機会を設け、地域に開かれた事業所を目指していきたいと思っております。	
非常時の対応	38	○		各種対応マニュアルは事業所入り口付近のわかりやすい場所に掲示しております。	事業所玄関の掲示する他に、保護者様に繰り返しご案内し、安心していただけるように努めてまいります。	
	39	○		毎年火災、地震、風水害・不審者への避難や対応訓練を行います。	今後も継続して訓練をおこなってまいります。	
	40	○		外部研修には毎回参加し、参加した職員が事業所へ持ち帰り、会議にて周知しております。	今後も継続して、研修受講と周知をおこなってまいります。	
	41	○		個別支援計画に記載し、又利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており生命または、身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合は予め文書により保護者様の同意を得るようにしております。	今後も利用児童や保護者様にはわかりやすい説明を行い、了解を得たうえで計画に記載してまいります。	
	42	○		アレルギーについては、ご契約時に保護者様から聞き取りをおこない、全職員が把握できるよう、一覧表を作成し、全員で周知・徹底しております。	今後も保護者様からの情報をもとに職員間の情報共有・認識一致に努めてまいります。	
	43	○		ヒヤリハット記録は、すぐに報告書を作成し、ファイルにまとめ、報告振り返り共有しております。	今後も継続して、ヒヤリハット報告書の作成、職員間の情報共有・認識一致に努め、事故または再発防止に取り組んでまいります。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。